

## [2014]九州大学情報統括本部年報 : 2014年度

<https://doi.org/10.15017/1560528>

---

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2014, pp.1-, 2015. 九州大学情報統括本部  
バージョン :  
権利関係 :

## 第18章 ISMS運用事業

### 18.1 情報統括本部におけるISMSの継続的な運用

(1) 平成26年度に計画したISMSのイベントについて、次のように実施しました。

- リスクアセスメントの実施  
リスクアセスメントを実施し、情報資産一覧表、情報サービス一覧、情報サービス間連携状況一覧、情報資産価値評価一覧表の更新を行いました。その結果に基づき、情報資産リスク識別表を作成し、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産を特定しました。
- リスク対応計画策定  
リスクアセスメントの結果を受け、情報セキュリティリスク受容基準値を超えた情報資産に対し関係事業室等でリスク対応計画を策定しました。マネジメントレビューを通じ、理事（情報政策担当）でその計画が承認されました。（受容4件）
- ISMS：2013改訂差分解説講習の実施  
ISO/IEC 27001:2005年版からISO/IEC 27001:2013年版への変更点を理解し、ISO/IEC 27001:2013年版への移行に必要なスキルの修得を目的とした講習を実施し、24名が受講しました。
- 内部監査の実施  
新しいISMS文書に基づいた内部監査を実施しました。
- 全体説明会の実施  
ISMS適用範囲構成員に対し、ISMSマニュアルを中心としたISMS関連文書の変更点について説明を行いました。（開催日：10月31日、11月10日）

(2) 課題の継続的な検討、改善

- 課題の進捗状況  
第三者認証機関による継続審査、内部監査、マネジメントレビューでの指摘事項や課題について、継続して検討を行い、66課題（平成25年度からの継続課題を含む。）のうち36課題の解決策を策定し実施しました。

(3) ISMS文書見直し

ISMS規格変更に伴い、ISMS文書の全面的な見直しを実施しました。

(4) 第三者認証機関による更新審査

平成27年1月に第三者認証機関による更新審査を受審し、認証登録が更新されました。

**(5) ISMS 運用事業室のサービスレベルアグリーメントの作成**

ISMS 運用事業室のサービスレベルアグリーメントを作成し、他事業室においてもサービスレベルアグリーメントを作成するよう提案を行いました。

**(6) 力量の定義及びその育成方法について検討**

ISMS 運用事業室の実務を行うにあたり必要とされる力量の定義及びその育成方法を検討し、作成しました。

**18.2 九州大学内での ISMS の普及促進**

附属図書館の教職員を対象とした説明会を 10 月に実施し、ISMS の概要と導入のメリット等について説明し、情報発信及び情報提供を行いました。